

ようこうだより

2024年度



ふらぐ

since:2009

15周年の

これまで...

これから...



One team
for the future
on the community

KANOUKAI
館邑会

館 邑 会

理事長挨拶

常日頃、私ども法人にご支援ご協力頂いてますことを感謝申し上げます。

コロナが感染症2類から5類に移行して1年が過ぎました。しかし、コロナ以前の日常に戻れていないのが現状です。万全と思う感染対策をしても、コロナに感染してしまいう事例もありました。それでも前に進むために本年度からは、以前の行事も復活させていこうと考えています。

昨年度に一部オープンした日中支援型グループホーム『がじゅまる』も4月でフルオープンとなりました。私ども法人では、地域のニーズと利用者の希望を叶えられるよう、自立支援のための入所事業に力を入れていこうと考えています。利用者の方々が一番身

近な地域で生活をして支援を受けられる事が理想です、その理想に近づけるよう運営してまいります。

障がい者と健常者が、分け隔て無く共生できる社会実現のため、行政・地域の方々と進めていけたらと思います。

結びに、さらなるご指導ご鞭撻をお願いし理事長挨拶とさせていただきます。

理事長 山本 樹



新しい風

陽光園

今年度、法人職員の異動により新しい職員が来られました。新体制になった事で新しい風が入りました。これからひとり一人に必要なことを考えながら「スケジュール化」を諸先輩方を筆頭に力を入れて、皆で奮闘してまいります。各班の部屋で行ったり、コーディネーター室といった個室なども利用しています。個室を使用する事で刺激を減らし、環境を整えた中で本人に伝えるようにしています。そういった工夫をする中で、今まででなかなか新たな取り組みを進めることのできなかつた利用者の方達にも徐々に浸透して少しずつですが取り組みめるようになってきました。今まで行ってきた活動の一部

も行いながらも新しい事を取り入れたり、内容は変更せず絵カードで提示をして、より分かりやすいように視覚支援を行っています。また、秋にはお楽しみ会として好評のキッチンカーを呼んで楽しく食事を開催しました。利用者の方達も喜んでくれていました。利用者さん一人ひとりの喜んだ姿を見て職員も笑顔になれました。今後も利用者さんにとって分かりやすく、楽しくいられるような支援に繋げていけたらと思います。

生活支援員

勤続3年 寺内 健一



ふらっぐ設立を思ひ巡

ふらっぐ

09年10月に「ふらっぐ」を立ち上げました。あれから15年の月日が経ち、今年の10月に15周年イベントを開催することができましたことに、関係する皆様に感謝を致します。

この15年間を振り返りますと、多くの職員の支えもあり、これまでに20名弱の方が就職することも出来ました。また、会社関係においても、(株)エアグレス、(株)ダノンジャパン、(株)アドバンテイク・レヒュース、(株)ファインデクセル、(株)ラヤマパツク、(株)吉田紙器工業、(株)ひかり寿司、岩田屋商店、亀田製館所、(株)大久保養鶏場、石井精肉店など、多くの会社にお世話になり現在に至ります。

今から6年前にGOODJOBを立ち上げ、焼菓子とお弁当製造はGOODJOBがこない、ふらっぐで販売協力をおこなっております。焼き菓子のネット販売を始めたり、販売取扱店を増やしたりしてまいりました。パン店舗販売もキャッシュレス決済を導入し時代の変化を感じております。これから続く「ふらっぐ」をその変化にどのように対応させていくのか職員間で話し合い進めて参ります。これまでご愛顧頂いておりますお客様を大切に、これから巡り合うお客様を思い、また新しい利用者さんとの出会いを楽しみに進んで参ります。

管理者

勤続22年 鰐石 英男

いなかびも、いなかも・・・

GOODJOB

GOODJOBは、開設6年目を迎えました。ダノンリサイクルセンターでの作業、エアグレスで行われているリサイクル分別作業や段ボール組仕切り作業(秀和)非常用トイレの梱包作業(ファンデクセル)等、また、つつじが岡公園をはじめとする館林市内の施設・公園の清掃作業と毎日暑い時も寒い時も一人一人が自分のできる仕事に責任をもって時には集中して時には楽しさの中で、仲間と協力して作業を進めています。仲間がいるからこそできることはたくさんあります。時にはケンカをしてしまったり、自分勝手な行動をとってしま

うこともあるけれど、それは安心できる居場所と仲間の存

在があるからです。言葉は苦手な仲間だけこれまで一緒に過ごす中で重ね積み上げてきた関係性は、そんなやわなものではありません。何があっても最後にはこれまで通り過ごしていくことのできる

「安心感」はGOODJOBの最大のウリの一つです。人生も気持ちも行ったり来たり、一人一人の思いや気持ちも様々・・・一緒に考え寄り添い続けていく仲間たちがここにはいます。もちろんこれからもGOODJOBは、仲間の心のよりどころ、いつでも受け入れてくれる場所としてあります。

サービス管理責任者

勤続26年 松田 育子

ほっとできるみんなの居場所

ほっと

館林邑楽相談支援センター
ほっとは、館林市と邑楽町、
板倉町、千代田町、明和町の
一市四町の方を対象に相談支
援を行っています。主任相談
支援専門員1名、相談支援専
門員10名、相談員4名、事務
1名の計16名で支援をさせ
て頂いています。ご本人やご
家族の日常生活や社会生活を
営む上での悩み等の相談を
受けています。ご本人が望む
生活を送れるように、各関係
機関と共にチームとなり協力
しています。初めて関わる人
に自分の困っていることを伝
えるという事は少し身構えて
しまうことがあると思います。
どんな所だろう、どんな人が
話を聞いてくれるのだろうか
ど考え何度も電話番号を押す

かどうか悩み決めてくれたの
かもしれない。相談者がど
んな想いを持っているのか常
に想像しながら日々業務にあ
たっています。実際に想いを
言葉にできる人、ジェスチャ
ーで伝える人など様々な表現
方法があると思います。でき
る限り想いを汲み取れるよう
にしています。相談者がほっ
と安心できる相談員であれる
ように関係機関と連携を図り
ながら全力を尽くしていきたく
と思います。

相談支援員

勤続4年 星野 絵梨花



居住環境の整備

第二陽光園

昨年度、共同生活援助「が
じゅまる」が開所し、第二陽
光園から14名の方が環境を
変えて新しい生活をスタート
させました。利用者さんの移
動に伴い昨年度から進めてい
た「男性棟の個室化」も完了
し、第二陽光園の男性利用者
さん全員が個室となりました。
男性棟では空いたスペースを
綺麗に整備し、新たな治具の
提供場所を準備しました。落
ち着いて活動に取り組めるよ
うに簡単な仕切りを使ってど
なたでも使える自由なスペー
スとして活用いただいています。
す。デイルームの整備をして
から、ソファで本を読む、テ
レビを観るなど、余暇をゆつ
たり過ごされる利用者さんが
増えていきます。

女性棟は高齢化や重度化に
着目し、環境整備や「個」を
重視した支援をしております。
余暇支援としては、外食の際、
本人に好きなものを選択して
いただいたり、お弁当会やお
誕生日会を定期的に行い、利
用者さんが「嬉しい」と感じ
られる機会を増やせるように
配慮しています。

これからも職員間での情報
共有を密に行い、男女職員共
にできる限り「利用者さん
の思い」を実現していきたい
と考えています。利用者さん
の生活の基盤となる環境を整
え、彩りある生活を送ってい
ただけるよう心掛けていきたく
と思います。

生活支援員

勤続2年 木村 良

新たな取り組み

てんしゃば

共同生活援助事業所てんしゃばは、現在「あすか」女性13名、「そら」男性4名の利用者が入居されています。

てんしゃばで、グループホーム・日中活動事業所「一体化支援」が始まり半年が経とうとしています。一体化支援になると、2名の専属職員に加え、法人職員がてんしゃばと日中活動事業所の両事業所の所属となり、てんしゃばの早番を終えた後に日中事業所の勤務に入る。または日中事業所の勤務後に遅番。そして宿直業務もおこなう体制になります。そらでは昨年度より、

本年度よりあすかも合わせて一体化運営が行われています。職員だけでなく利用者さんも当初は戸惑われていましたが、

現在は軌道に乗り、職員で力を合わせて利用者さんの支援に携わらせて頂いております。

一体化運営が導入された背景には昨今の採用難や様々な事情があるのですが、多くの職員がグループホームの運営に関わることにより、利用者さんの新たな一面が見られるようになるなどの今まで気付かなかったことや発見がたくさんありました。

また訪問診療・看護の導入や、週末の移動支援の利用、地域連携の推進など、地域生活の基盤として、今後も職員一同、利用者さんの為に多くのことに取り組んでいきたいと思っています。

サービス管理責任者

勤続24年 前山 秀邦

花言葉「たくさん幸せ」

がじゅまる

共同生活援助事業所「がじゅまる」も、開所から1年が経過しました。皆様のあたたかいご協力もあり、利用者さんも「がじゅまる」の生活に慣れてきたところです。現在、南側の棟（珊瑚）が利用者8名、北側の棟（瑠璃）が利用者7名の計15名が生活しています。「がじゅまる」の基本理念でもある「ひとりひとりの福祉（幸せ）、当たり前の生活を支える」を日ごろから考え、利用者さんにとって安心して心地よく、笑顔で毎日過ごすことのできる環境づくりに努めています。また、ひとりひとりの楽しみの充実を図りながらも、利用者さんの高齢化も進んでいますので、安全で健康的に過ごすことのできる支

援を行っていききたいと思っています。外出や外食を楽しみにしている利用者さんも多いので、「行きたい場所」「食べたいもの」の希望を聞きながら、これからも楽しんでもらえる計画をたくさん立てていきたいと思っています。

生活支援員

勤続10年 金澤 将太



研修委員会

研修委員会では、毎年取り組んでいる館邑会自主研究について話し合いました。様々な

意見がある中で、令和6年度は自主研究の課題を研修委員会で設定することとなりました。

「法人の今後の在り方について」

「業務（支援等）」に取組む上で、「せいこうし」について」

「業務（支援等）」に取組む上での職場のチームワークについて」

3つの課題より選択していただくことになりました。今回は初めての取り組みということで、幅広く課題の設定を行っています。いずれにしても、日々の業務に関することです。自主研究が、職員一人、事業所、法人の支援力

の向上、そして何より利用者の方達の利益につながるような自主研究のあり方を考えていきます。

委員長 新井 昭代

苦情解決委員会

苦情解決の取り組み

については、近年障害福祉サービス事業における質の向上に伴い法人としても委員会活動の強化をしていく事になりました。

今年度より苦情解決にあたっての規定を新たに整えました。また、苦情解決委員の任期を明記し、新たな委員を迎え3人体制としました。

先日、今年度第一回目の第三者委員会も開催し苦情解決の状況やヒヤリハットの報告など法人における様々な

状況について報告をし、今後の事業運営に対して第三者委員の方より貴重なご意見を伺う機会となりました。

今後頂いたご意見を事業運営に活かしていきたいようにしていきます。

法人事業をご利用の皆様もお気軽に事業運営に対してのご意見をお聞かせ下さい。よろしくお願いいたします。

委員長 木村 夏子

危機管理委員会

昨今の異常気象や地震変動の多発にともない、今年度より事業所における非常時事業継続計画作成と研修・訓練が義務化になりました。それに伴い今年度は非常災害時緊急連絡訓練としてSNSのチャットワークを使用し

職員安否確認を実施いたしました。

その結果を振り返り、もしもの時の職員体制や初動対応などを検討し計画書の見直しや更新につなげて、安心安全な事業運営を目指して取り組んでまいります。

委員長 鰐石 英男

人権倫理委員会

人権倫理委員会では、虐待防止委員会と身体拘束適正化委員会を開催しています。

虐待防止委員会の役割として、各事業所における虐待防止研修内容を共有し、館邑会全体が人権擁護に関する知識を深める事が出来るよう、その環境作りに努めています。新任職員への人権倫理研修を担当する他、虐待事

案が発生した場合の検証も行います。

身体拘束適正化委員会においては、原則禁止とされている身体拘束及びその他の行動を制限する行為を、安全確保を優先する為にやむを得ずおこなう場合の三要件（切迫性、非代替性、一時性）に基づいて協議しています。利用者の尊厳と主体性を尊重し、拘束を安易に正当化することなく、身体拘束をしない支援の実施に努めています。

委員長 遠藤 真由実



館 邑 会

管理職者紹介

館 邑 会 事務局長

田 中 良 治 (令和3年4月就任)

【通所】

陽光園 昭和56年4月

生活介護 55名

中 村 建 児 (令和6年4月就任)

新 井 昭 代 (令和6年4月就任)

木 村 夏 子 (令和6年4月就任)

ふらっぐ 平成21年10月

就労継続支援B型 20名

鰐 石 英 男 (令和3年4月就任)

GOODJOB 平成30年4月

就労継続支援B型 20名

中 村 建 児 (平成30年4月就任)

鰐 石 英 男 (令和6年4月就任)

【相談】

ほっと 平成19年1月

仁 木 紀 行 (令和3年4月就任)

【入所】

第二陽光園 平成8年4月

施設入所支援 35名

生活介護 35名

短期入所 4名

日中一時支援 1名

程 原 一 行 (令和3年4月就任)

てんしやば 平成17年2月

共同生活援助包括型 19名

中 村 建 児 (令和6年4月就任)

遠 藤 真 由 実 (令和5年4月就任)

がじゅまる 令和5年10月

共同生活援助日中型 16名

短期入所 1名

程 原 一 行 (令和5年10月)

令和6年秋の叙勲 瑞宝双光章受賞

てんしやば生活支援員・世話人 久保田佳代

この度、当法人開所当初から勤務されているてんしやば生活支援員・世話人の久保田佳代さんが瑞宝双光章を受賞され、去る11月6日に群馬県庁にて伝達式が行われました。心よりお祝い申し上げます。

この度、令和6年秋の叙勲に於いて瑞宝双光章を頂戴致しました。本当に名誉ある事です。が今だに何で私が…と信じられない日々が続いている状況です。

永年の社会福祉に対する功績に対しての受賞との事ですが、館邑会の職員として昭和56年4月1日に入職し今日まで働いて来ただけ。利用者さんと同じ時間を共有し、楽しい事・辛い事様々な経験をさせて頂き、成長させて頂きました。何も解らない私に知的障がいの方や個性について丁寧に教えて頂き様々な相談にもお借りして感謝を申し上げます。助言を頂いた事で利用者さんとの接し方等を工夫しながら長きに渡り働く事が出来たのも多種に渡る皆様の助言や協力がなければ続ける事は出来なかったと思っています。今後も今回の受賞に恥じない様務めて参りたいと存じます。言葉整いませんが、感謝の言葉とさせて頂きます。本当にありがとうございます。

てんしやば 生活支援員・世話人

勤続43年 久保田 佳代



ずいほうそうこうしょう
瑞宝双光章は、公共的な職務で成績を挙げた人に授与される日本の勲章です。



表彰披露

◇日本知的障害者福祉協会知的障害者福祉事業功労者（20年）
第二陽光園 山岸 小百合 サービス管理責任者

◇群馬県知的障害者福祉協会永年勤続表彰（10年）

第二陽光園 坂本 彩加 主任 生活支援員
第二陽光園 千葉 克真 主任 生活支援員
第二陽光園 野村 稜子 生活支援員
てんしやば 島田 知実 生活支援員
がじゅまる 金澤 将太 生活支援員
(所属・職名は令和5年12月推薦時)

◇群馬県手をつなぐ育成会会長表彰（8年）

第二陽光園 小林 良美 生活支援員
ふらっぐ 佐藤 泉 職業指導員
てんしやば 加藤 俊雄 夜間専門員
てんしやば 高原 歌子 世話人
てんしやば 川田 哲也 夜間専門員

寄付・寄贈品

期間：令和5年8月～令和6年10月

【寄付】

◇団体

桑の実会 様
館邑会後援会 様
邑楽町音楽連盟 様
館林市手をつなぐ育成会 様

◇個人

木村 孝 様



ご厚情に心より感謝申し上げます。
お名前だけの掲載となります。

令和5年度 事業報告

1.役員会等の状況（書）は書面議決による決済

4月20日 第1回理事会（書）	
	陽光園送迎用車輛売買契約について
6月7日 第2回理事会	
	令和4年度事業報告・決算報告 役員候補の選任 評議員選任解任委員の選任 運営規程の変更（第二陽光園・ういず） 経理規程の一部変更 ふらっぐ「エアコンの入替工事」 補正予算 定時評議員会開催
6月26日 定時評議員会	
	令和4年度事業報告・決算報告 補正予算 役員選任
6月26日 第3回理事会	
	理事長の選任
7月26日 第4回理事会	
	ふらっぐエアコン入替工事契約 がじゅまる運営規程 がじゅまる内装工事業者選定 評議員候補者の選任
8月7日 評議員選任解任委員会	
	評議員の選任（森田氏）

9月20日 第5回理事会（書）	
	がじゅまるの改修工事契約
1月16日 第6回理事会	
	第2次補正予算 ほっと運営規程一部変更 臨時職員取扱要領一部変更 評議員会開催について
1月24日 第2回評議員会	
	第2次補正予算
3月4日 第7回理事会	
	管理者人事 令和6年度事業計画・当初予算 理事候補者選任 運営規程・就業規則・給与規程・預り金管理規程の変更 俸給表更新見送り 評議員会開催について
3月26日 第3回評議員会	
	令和6年度事業計画・当初予算 理事選任

2.その他会議やイベント

開催日	事業名	内容
8月1日	館邑会後援会	決算・予算、事業報告
11月7日	第三者委員会(1)	法人に寄せられた苦情・事故報告
	秋まつり	～中止～
3月19日	第三者委員会(2)	法人に寄せられた苦情・事故報告

令和5年度 決算報告

資 金 収 支 計 算 書
(自) 令和 5年 4月 1日 (至) 令和 6年 3月31日

(単位: 円)

勘 定 科 目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	54,110,000	54,243,485	△133,485
		障害福祉サービス等事業収入	717,194,000	721,738,396	△4,544,396
		その他の事業収入	6,187,000	6,541,000	△354,000
		経常経費寄附金収入	729,000	737,840	△8,840
		受取利息配当金収入	19,000	17,837	1,163
		その他の収入	6,332,000	6,343,878	△11,878
		事業活動収入計(1)	784,571,000	789,622,436	△5,051,436
	支出	人件費支出	589,859,000	567,853,278	22,005,722
		事業費支出	91,268,000	84,986,228	6,281,772
		事務費支出	60,524,000	52,363,527	8,160,473
		就労支援事業支出	54,110,000	51,077,206	3,032,794
		支払利息支出	260,000	259,893	107
		その他の支出	4,000,000	3,907,630	92,370
		事業活動支出計(2)	800,021,000	760,447,762	39,573,238
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		△15,450,000	29,174,674	△44,624,674
施設整備等による収支	収入				
		施設整備等収入計(4)	0	0	0
	支出	設備資金借入金元金償還支出	3,504,000	3,504,000	0
		固定資産取得支出	25,827,000	25,674,655	152,345
		施設整備等支出計(5)	29,331,000	29,178,655	152,345
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△29,331,000	△29,178,655	△152,345	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	10,734,000	4,214,407	6,519,593
		拠点区分間長期借入金収入	23,000,000	21,000,000	2,000,000
		拠点区分間長期貸付金回収収入	40,500,000	38,500,000	2,000,000
		拠点区分間繰入金収入	59,000,000	57,000,000	2,000,000
		その他の活動による収入計(7)	133,234,000	120,714,407	12,519,593
		積立資産支出	16,953,000	17,177,800	△224,800
	支出	拠点区分間長期貸付金支出	23,000,000	21,000,000	2,000,000
		拠点区分間長期借入金返済支出	40,500,000	38,500,000	2,000,000
		拠点区分間繰入金支出	59,000,000	57,000,000	2,000,000
		その他の活動支出計(8)	139,453,000	133,677,800	5,775,200
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△6,219,000	△12,963,393	6,744,393
		予備費支出(10)	0	—	0
			0		
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		△51,000,000	△12,967,374	△38,032,626
	前期末支払資金残高(12)		439,317,000	444,573,474	△5,256,474
当期末支払資金残高(11)+(12)		388,317,000	431,606,100	△43,289,100	



令和5年度 決算報告

事業活動計算書

(自) 令和 5年 4月 1日 (至) 令和 6年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	就労支援事業収益	54,243,485	52,398,525	1,844,960
	障害福祉サービス等事業収益	721,738,396	718,727,445	3,010,951
	その他の事業収益	6,541,000	7,840,997	△1,299,997
	経常経費寄附金収益	737,840	1,534,125	△796,285
	サービス活動収益計(1)	783,260,721	780,501,092	2,759,629
	費用			
	人件費	567,771,334	558,987,544	8,783,790
	事業費	84,986,228	84,433,238	552,990
	事務費	52,409,584	49,601,215	2,808,369
サービス活動外増減の部	就労支援事業費用	51,135,990	50,747,984	388,006
	減価償却費	25,734,423	21,653,762	4,080,661
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△8,763,626	△8,763,626	0
	サービス活動費用計(2)	773,273,933	756,660,117	16,613,816
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	9,986,788	23,840,975	△13,854,187
	収益			
	受取利息配当金収益	17,837	5,842	11,995
	その他のサービス活動外収益	6,343,878	6,943,116	△599,238
	サービス活動外収益計(4)	6,361,715	6,948,958	△587,243
	費用			
	支払利息	259,893	97,935	161,958
特別増減の部	その他のサービス活動外費用	3,907,630	3,719,750	187,880
	サービス活動外費用計(5)	4,167,523	3,817,685	349,838
	サービス活動増減差額(6)=(4)-(5)	2,194,192	3,131,273	△937,081
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	12,180,980	26,972,248	△14,791,268
	収益			
	固定資産売却益	0	4,900,000	△4,900,000
	拠点区分間繰入金収益	57,000,000	32,469,500	24,530,500
	その他の特別収益	0	33,791,482	△33,791,482
	特別収益計(8)	57,000,000	71,160,982	△14,160,982
	費用			
	固定資産売却損・処分損	400,782	0	400,782
繰越活動増減差額の部	拠点区分間繰入金費用	57,000,000	32,469,500	24,530,500
	特別費用計(9)	57,400,782	32,469,500	24,931,282
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△400,782	38,691,482	△39,092,264
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	11,780,198	65,663,730	△53,883,532
	前期繰越活動増減差額(12)	501,223,067	411,689,897	89,533,170
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	513,003,265	477,353,627	35,649,638
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	3,000,720	31,869,500	△28,868,780
	その他の積立金積立額(16)	16,000,000	8,000,060	7,999,940
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	500,003,985	501,223,067	△1,219,082

貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

(単位: 円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	475,781,332	488,891,209	△13,109,877	流動負債	47,295,491	47,379,210	△83,719
現金	600,000	600,000	0	事業未払金	21,697,664	27,057,408	△5,359,744
預金	352,919,265	360,618,437	△7,699,172	1年以内返済予定設備資金借入金	3,504,000	3,504,000	0
事業未収金	107,919,346	115,530,247	△7,610,901	預り金	1,000,000	35,734	964,266
原材料	383,741	442,525	△58,784	職員預り金	11,093,827	6,782,068	4,311,759
立替金	1,165,000	0	1,165,000	拠点区分間借入金	10,000,000	10,000,000	0
前払金	2,793,980	1,700,000	1,093,980	固定負債	122,945,275	144,018,483	△21,073,208
拠点区分間貸付金	10,000,000	10,000,000	0	設備資金借入金	27,116,000	30,620,000	△3,504,000
固定資産	636,196,050	641,226,528	△5,030,478	拠点区分間長期借入金	85,762,783	103,262,783	△17,500,000
基本財産	357,843,187	365,086,006	△7,242,819	退職給付引当金	10,066,492	10,135,700	△69,208
土地	120,028,275	120,028,275	0	負債の部合計	170,240,766	191,397,693	△21,156,927
建物	232,784,530	238,016,316	△5,231,786	純資産の部			
建物付属設備	5,030,382	7,041,415	△2,011,033	基本金	168,572,625	168,572,625	0
その他の固定資産	278,352,863	276,140,522	2,212,341	基本金	168,572,625	168,572,625	0
建物	23,088,919	23,564,801	△475,882	国庫補助金等特別積立金	149,484,006	158,247,632	△8,763,626
建物付属設備	2,603,930	3,628,999	△1,025,069	国庫補助金等特別積立金	149,484,006	158,247,632	△8,763,626
構築物	621,821	776,139	△154,318	その他の積立金	123,676,000	110,676,720	12,999,280
機械及び装置	5,209,882	5,613,891	△404,009	移行時特別積立金	27,086,000	27,086,000	0
車輦運搬具	12,729,459	9,490,837	3,238,622	施設整備積立金	70,500,000	63,500,720	6,999,280
器具及び備品	10,404,271	4,404,479	5,999,792	人件費積立金	21,500,000	15,500,000	6,000,000
建設仮勘定	2,904,000	2,904,000	0	修繕費積立金	4,590,000	4,590,000	0
リサイクル預託金	376,980	347,680	29,300	次期繰越活動増減差額	500,003,985	501,223,067	△1,219,082
権利	597,209	607,158	△9,949	次期繰越活動増減差額	500,003,985	501,223,067	△1,219,082
ソフトウェア	341,117	757,335	△416,218	(うち当期活動増減差額)	11,780,198	65,663,730	△53,883,532
拠点区分間長期貸付金	85,732,783	103,232,783	△17,500,000				
退職給付引当資産	10,066,492	10,135,700	△69,208				
移行時特別積立	27,086,000	27,086,000	0				
施設整備積立資産	70,500,000	63,500,720	6,999,280				
人件費積立資産	21,500,000	15,500,000	6,000,000				
修繕費積立資産	4,590,000	4,590,000	0				
資産の部合計	1,111,977,382	1,130,117,737	△18,140,355	純資産の部合計	941,736,616	938,720,044	3,016,572
				負債及び純資産の部合計	1,111,977,382	1,130,117,737	△18,140,355

苦情処理結果報告

令和5年10月1日～令和6年9月30日現在

事業所名	苦情件数
陽光園	5
ふらっぐ	0
GOOD JOB	0
ほっと	5
第二陽光園	0
がじゅまる	1
てんしゃば	2

社会福祉法人館邑会の役員

1. 評議員

前山 秀樹(善長寺住職)
安樂岡 信子

三田 正信(館林市社協長)
峯崎 俊雄(板倉町社協長)
立木 留吉(明和町社協長)
森田 榮(千代田町社協長)
岩瀬 寿夫(大泉町社協長)
内田 雅行(邑楽町民生委員・
児童委員協議会長)

2. 理事

山本 樹(理事長)
太田 敏雄
山川 博
多田 征訓
大竹 喜代子(邑楽町教育委員会
外部評価委員)

3. 監事

大谷 恵
仁木 紀行(ほっと管理者)
田沼 俊彦
神長 泰弘

第三者委員

田口 範雄
平野 一男(司法書士)
橋本 宏海

編集後記

ようこうだよりの発行の
時期となりました。今年は
10月になっても夏日が続
いて、エアコンをつける機
会が多かったですね。この
酷暑の時期に初コロナ感染
してしまい、ひどい頭痛と
倦怠感、味覚症状、そして
後遺症の喘息が1か月以上
続いて眠れず、大変な目に
あいました。マスク着用で
きる限りの対策をしましよ
う。(A、W)

＼ FOLLOW ME ! /



Instagram



ようこうだより

令和六年号

編集・発行 社会福祉法人 館邑会

〒370-0614 群馬県邑楽郡邑楽町赤堀八三六の一

<https://kanoukai.jp>

本部 TEL:0276-89-0600 FAX:0276-88-6930 mail:info@kanoukai.com